

I 教育理念・教育目的・教育目標

1 本校の教育理念

本校は、生命の尊厳と人間愛を基盤として、対象を思いやる豊かな人間性を育み、専門知識・技術を教授し、社会のニーズに応え得る能力を養い、安全で安心な医療を担う専門職業人を育成します。

2 本校の教育目的

本校における教育は、すべての県民の健康に対して等しく貢献しうる、助産師、看護師、歯科技工士及び歯科衛生士を養成することを目的とする。

学生一人ひとりの個性を大切にし、専門職業人としての自覚と豊かな人間性を養い、科学的な思考力と実践力をもって、対象のニーズに応じたセルフケアの確立に支援できる能力の育成をめざす。

3 歯科衛生学科の教育目的

歯科衛生士として必要な知識、技術、態度を習得させ、地域社会に貢献できる人材を育成する。

4 歯科衛生学科の教育目標

- (1) 人間を身体的、精神的、社会的に統合された存在として理解できる能力を養う。
- (2) 口腔保健と全身的な健康状態の関係について理解できる能力を養う。
- (3) 歯科衛生士の主要な業務である歯科予防処置、歯科診療補助及び歯科保健指導についての知識、技術を習得し、応用展開できる実践力を養う。
- (4) 人々の歯・口腔の健康に関するセルフケア能力を高めるための役割を認識し、対象のニーズに応じて支援できる調整能力を養う。
- (5) 保健・医療・福祉チームの一員として協働するとともに、歯科医療従事者としての倫理観、人間性、感性を養う。
- (6) 歯科保健医療の動向に関心を持ち、主体的に学び続ける能力を養う。

5 カリキュラムポリシー

歯科衛生学科では、高い倫理観を身につけ、対象となる人々の問題解決に向け科学的根拠をもって応えることができるよう常に自己研鑽し、さらには歯科医療の高度化と社会環境の変化に対応できる人材の育成を目指しています。

歯科衛生学科の教育課程は、「基礎分野」「専門基礎分野」を土台とし、その上に「専門分野」「選択必修分野」を置く。すべての中心に「倫理観」を位置づけ、対象者の健康状態や置かれている状況を理解できる力を修得する。1年次では「基礎分野」「専門基礎分野」から、生命と医療に関わる倫理的問題や、人の行動と心理に関する基本的な知識や考え方、生体の構造を知るための、細胞の構造、働きおよび生命現象に関する基本的知識を修得する。2年次では「専門分野」から、歯科疾患の種類、症状、診断方法および治療法を理解し、歯科衛生業務に必要な知識・技術を深める。2年次後半から3年次には、各分野で学んだことを臨床で活かせるよう構成している。

- (1) 口腔疾患の予防や健康増進の視点から、歯科衛生士によるケアは疾病を持つ対象者に限定されるものではなく、健康な対象者にも提供していくことが必要である。さらには、幅広い年齢層や生活状況が異なる人々の口腔の健康に対する価値観を理解する必要があり、高い倫理観と相手を思いやる豊かな人間性が求められる。
「倫理学」「心理学」「社会学」の基礎分野において基礎的知識を修得できるようにする。また、「臨床実習」や「臨地実習」の専門分野において、ライフステージ別における対象者を理解し、一人ひとりの問題やその原因から解決方法を根拠と照らし合わせながら深く考え支援できる能力を修得する。
- (2) 歯科医療の専門職として、口腔の健康の保持、総合的（身体的・精神的・社会的）な健康の増進およびQOLを高めるために、時代に応じた社会における歯科医療ニーズの幅広い知識を深め、科学的根拠に基づく判断、批判的思考が求められる。専門分野「臨床歯科医学」から、基礎的な歯科医療について学び、それらを応用できるよう「臨床実習」「臨地実習」を通じて、知識・技術を修得する。
- (3) 高齢者の健康を維持していくうえで、食べる機能を担う口腔機能の維持向上を含めた口腔管理は重要である。そのためには、保健・医療・福祉現場の歯科医療ニーズを理解し、地域包括ケアシステムの歯科衛生士の役割を認識する必要がある。また、チーム医療を構築していくための多彩な表現力を育む必要がある。「歯科保健指導Ⅲ」では、地域における歯科衛生士の活動を学び、さらには「歯科保健指導Ⅳ」「歯科健康教育Ⅰ」「歯科健康教育Ⅱ」において、円滑なチーム医療を目指すための多職種との連携方法や調整能力を修得する。

- (4) 口腔疾患は先進国・開発途上国を問わず人々のQOLを損ね、公衆衛生上においても大きな問題となっている。グローバル化が進み外国人が増加する中で、「英語」「歯科英語」の語学能力を身につけるとともに、文化や経済力の違いを知り、歯科領域からの適切な保健医療サービスを楽しむことができるよう、国際歯科保健に関する関心を高める。

- (5) 疾病構造の変化やニーズの多様化に伴い、歯科医療を取り巻く環境も常に変化している。また、歯や口腔の健康は、全身の健康にも大きな関わりを持つことから、ニーズに対応した適切な医療を提供できる能力が求められている。しいては、この能力を身につけ発揮できることが歯科衛生士の魅力である。そのため「研究」や「歯科健康教育」において、単純想起の考えではなく、自らが問題を発見する能力と、その問題を多様な手段で解決する自己開発能力を身につけるために必要な知識・技術・態度を修得する。

Ⅱ 授業科目および時間数

分野	教育内容	授 業 科 目	単 位 数 (時間数)			備 考		
			講義	臨床・臨地実習	合計			
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	生 物 学	1	(30)	1	(30)		
		化 学	1	(30)	1	(30)		
		心 理 学	1	(30)	1	(30)		
		社 会 学	1	(30)	1	(30)		
		英 語	1	(30)	1	(30)		
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	(15)	1	(15)		
		芸 術	1	(15)	1	(15)	演習含む	
		倫 理 学	1	(15)	1	(15)		
小 計		10	(240)	10	(240)			
専門基礎分野	人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能	解 剖 学	1	(30)	1	(30)		
		組 織 ・ 発 生 学	1	(15)	1	(15)	実習含む	
		生 理 学	2	(30)	2	(30)		
		栄 養 学	1	(30)	1	(30)		
	歯・口腔の構造と機能	栄 養 学	1	(30)	1	(30)		
		口 腔 解 剖 学	2	(30)	2	(30)		
		口 腔 生 理 学	1	(15)	1	(15)		
		生 化 学	2	(30)	2	(30)		
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病 理 学	2	(30)	2	(30)		
		薬 理 学	1	(30)	1	(30)		
		薬 理 学	1	(15)	1	(15)		
		微 生 物 学	1	(30)	1	(30)		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	微 生 物 学	1	(15)	1	(15)	実習含む	
		口 腔 衛 生 学	1	(15)	1	(15)		
		口 腔 衛 生 学	1	(30)	1	(30)		
		衛 生 統 計	2	(30)	2	(30)		
衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学		1	(15)	1	(15)			
衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学		1	(15)	1	(15)			
衛 生 行 政 ・ 社 会 福 祉		1	(30)	1	(30)			
小 計		24	(465)	24	(465)			
専門分野	歯科衛生士概論	歯 科 衛 生 士 概 論	I	1	(30)	1	(30)	
		歯 科 衛 生 士 概 論	II	1	(15)	1	(15)	
	臨床歯科医学	歯 科 保 存 修 復 学	1	(30)	1	(30)		
		歯 科 内 療 法 学	1	(30)	1	(30)		
		歯 科 周 療 法 学	1	(15)	1	(15)		
		歯 科 補 綴 学	1	(30)	1	(30)		
		歯 科 矯 正 学	1	(15)	1	(15)		
		口 腔 外 科 学	I	1	(15)	1	(15)	
		口 腔 外 科 学	II	1	(30)	1	(30)	
		小 児 歯 科 学	1	(30)	1	(30)		
	歯 科 放 射 線 学	1	(15)	1	(15)	実習含む		
	障 害 者 ・ 高 齢 者 歯 科 学	1	(30)	1	(30)			
	歯科予防処置論	歯 科 予 防 処 置 基 礎	2	(60)	2	(60)	実習含む	
		歯 科 周 病 予 防 処 置	I	2	(60)	2	(60)	実習含む
		歯 科 周 病 予 防 処 置	II	2	(60)	2	(60)	実習含む
		歯 科 周 病 予 防 処 置	III	1	(30)	1	(30)	実習含む
	歯科保健指導論	う 蝕 予 防 処 置	1	(30)	1	(30)	実習含む	
		歯 科 保 健 指 導 基 礎	1	(30)	1	(30)	実習含む	
		歯 科 保 健 指 導	I	1	(30)	1	(30)	実習含む
		歯 科 保 健 指 導	II	1	(30)	1	(30)	実習含む
		歯 科 保 健 指 導	III	1	(30)	1	(30)	実習含む
		歯 科 保 健 指 導	IV	1	(30)	1	(30)	実習含む
	歯科診療補助論	歯 科 健 康 教 育	I	1	(30)	1	(30)	実習含む
		歯 科 健 康 教 育	II	1	(45)	1	(45)	実習含む
歯 科 診 療 補 助 基 礎		1	(45)	1	(45)	実習含む		
歯 科 診 療 補 助		I	2	(90)	2	(90)	実習含む	
歯 科 診 療 補 助		II	2	(90)	2	(90)	実習含む	
歯 科 診 療 補 助		III	2	(90)	2	(90)	実習含む	
小 計	材 料 器 械	1	(15)	1	(15)			
	臨 床 検 査 法	1	(15)	1	(15)	実習含む		
	小 計	36	(1,095)	36	(1,095)			
	臨地実習（臨床実習を含む。）	臨 床 実 習	I	1	(45)	1	(45)	
		臨 床 実 習	II (歯科診療所)	3	(135)	3	(135)	
		臨 床 実 習	II (病院)	2	(90)	2	(90)	
		臨 床 実 習	III (歯科診療所①)	2	(90)	2	(90)	
		臨 床 実 習	III (歯科診療所②)	2	(90)	2	(90)	
		臨 床 実 習	III (歯科診療所③)	2	(90)	2	(90)	
		臨 床 実 習	III (病院①)	2	(90)	2	(90)	
臨 床 実 習		III (病院②)	2	(90)	2	(90)		
臨 地 実 習		I	2	(90)	2	(90)		
臨 地 実 習		II	2	(90)	2	(90)		
小 計		20	(900)	20	(900)			
選択必修分野		歯 科 英 語	1	(15)	1	(15)		
		受 付 応 対	1	(15)	1	(15)		
		社 会 保 険 ・ 請 求 事 務	1	(15)	1	(15)		
		関 連 医 学	1	(30)	1	(30)		
		看 護 ・ 介 護 技 術	1	(30)	1	(30)	実習含む	
		手 話	1	(15)	1	(15)	演習含む	
		接 遇 作 業	1	(15)	1	(15)	演習含む	
小 計	8	(165)	8	(165)				
小 計	8	(165)	8	(165)				
総 合 計		78	(1,965)	20	(900)	98	(2,865)	

III 教育進度表

分野	教育内容	科目	単位数	時間数	1年	2年	3年	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	生物学	1	30	30			
		化学	1	30	30			
		心理学	1	30	30			
		社会学	1	30	30			
		英語	1	30	30			
		コミュニケーション論	1	15	15			
		芸術	1	15	15			
		倫理学	1	15	15			
		保健体育	1	30	30			
		情報リテラシー	1	15	15			
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能	解剖学	1	30	30			
		組織・発生学	1	15	15			
		生理学	2	30	30			
		栄養学Ⅰ	1	30	30			
		栄養学Ⅱ	1	30	30			
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	2	30	30			
		口腔生理学	1	15	15			
		生化学	2	30	30			
	疾病の成り立ちおよび回復過程の促進	病理学	2	30	30			
		薬理学Ⅰ	1	30	30			
		薬理学Ⅱ	1	15	15			
		微生物学Ⅰ	1	30	30			
		微生物学Ⅱ	1	15	15			
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	1	15	15			
		口腔衛生学Ⅱ	1	30	30			
		衛生統計	2	30		30		
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ	1	15		15		
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ	1	15		15		
		衛生行政・社会福祉	1	30			30	
	専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論Ⅰ	1	30	30		
歯科衛生士概論Ⅱ			1	15		15		
臨床歯科医学		歯科保存修復学	1	30	30			
		歯内療法学	1	30	30			
		歯周療法学	1	15	15			
		歯科補綴学	1	30	30			
		歯科矯正学	1	15		15		
		口腔外科学Ⅰ	1	15	15			
		口腔外科学Ⅱ	1	30	30			
		小児歯科学	1	30		30		
		歯科放射線学	1	15		15		
		障害者・高齢者歯科学	1	30		30		
歯科予防処置論		歯科予防処置基礎	2	60	60			
		歯周病予防処置Ⅰ	2	60		60		
		歯周病予防処置Ⅱ	2	60			60	
		歯周病予防処置Ⅲ	1	30			30	
歯科保健指導論		う蝕予防処置	1	30		30		
		歯科保健指導基礎	1	30	30			
		歯科保健指導Ⅰ	1	30	30			
		歯科保健指導Ⅱ	1	30		30		
	歯科保健指導Ⅲ	1	30		30			
	歯科保健指導Ⅳ	1	30			30		
	歯科健康教育Ⅰ	1	30		30			
歯科健康教育Ⅱ	1	45			45			
歯科診療補助論	歯科診療補助基礎	1	45	45				
	歯科診療補助Ⅰ	2	90	90				
	歯科診療補助Ⅱ	2	90		90			
	歯科診療補助Ⅲ	2	90		90			
	材料器械	1	15	15				
	臨床検査法	1	15		15			
臨地実習(臨地実習を含む。)	臨床実習Ⅰ	1	45	45				
	臨床実習Ⅱ(歯科診療所)	3	135		135			
	臨床実習Ⅱ(病院)	2	90		90			
	臨床実習Ⅲ(歯科診療所①)	2	90			90		
	臨床実習Ⅲ(歯科診療所②)	2	90			90		
	臨床実習Ⅲ(歯科診療所③)	2	90			90		
	臨床実習Ⅲ(病院①)	2	90			90		
	臨床実習Ⅲ(病院②)	2	90			90		
	臨地実習Ⅰ	2	90		90			
	臨地実習Ⅱ	2	90			90		
選択必修分野	歯科英語	1	15			15		
	受付応対	1	15		15			
	社会保険・請求事務	1	15			15		
	関連医学	1	30		30			
	看護・介護技術	1	30		30			
	手話	1	15			15		
	接遇作法	1	15		15			
	研究	1	30			30		
	合計			98	2,865	1,110	945	810

IV 行事、実習計画

学 年 月	1年	2年	3年	備考
4月	入学式・ガイダンス 健康診断 防災訓練	始業式 健康診断 防災訓練	始業式 健康診断 防災訓練 臨地実習Ⅱ(開始)	
5月				
6月	臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅲ(開始)	
7月				
8月	夏季休業	夏季休業	臨地実習Ⅱ(終了) 夏季休業	
9月	球技大会	球技大会 臨地実習Ⅰ(開始)	球技大会	
10月				
11月		臨地実習Ⅰ(終了)		
12月	上級救命講習 臨床実習Ⅰ 文化祭 冬季休業	文化祭 冬季休業	臨床実習Ⅲ(終了) 文化祭 冬季休業	
1月		臨床実習Ⅱ(開始)		
2月				
3月	卒業式 終業式 春季休業	卒業式 終業式 臨床実習Ⅱ(終了) 春季休業	卒業式 国家試験	

* 行事等は、状況により変更することがあります。